

JaSIA

Japanese Society of Independent Appraisers
日本資産評価士協会



一般社団法人 日本資産評価士協会
JAPANESE SOCIETY OF INDEPENDENT APPRAISERS



JaSIA
Japanese Society of Independent Appraisers
日本資産評価士協会

一般社団法人 日本資産評価士協会
〒151-0061 東京都渋谷区初台1-51-1 初台センタービル 708
TEL : 03-5350-8808 FAX : 03-5350-8809
<http://www.jasia-asa.org/>

<http://www.jasia-asa.org/>

総合的な資産評価制度の普及・促進により、 国際競争力強化に寄与します。

日本資産評価士協会は、グローバル化、IFRSの導入など、新時代を迎えた我が国の会計・企業財務実務のニーズに対応する総合的な資産評価のインフラ創設に向け、NPOの活動を継承して、2010年に設立されました。EPA/FTA、TPP、IFRSの導入など経済のグローバル化へ向けた動きが加速化し、資産の時価評価を前提とした企業経営へシフトしつつありますが、日本に於いては不動産鑑定制度を除いては資産の時価評価制度のインフラがなく、グローバル化への対応が殆どされていないのが現状です。

日本資産評価士協会は総合的な資産評価制度を普及させ、信頼性の高い資産評価の専門家を養成するため、ASA(American Society of Appraisers=米国鑑定士協会)との独占的な業務提携により、教育・研修・プログラムによるトレーニングを実施し資産評価資格を認定する機関です。

私達は経済活動のグローバル化を進め、日本企業の国際的な進出を支援し、また海外から日本への投資を促進する等、資産評価の専門家として国際的な経済活動に寄与し、日本の国際競争力強化に貢献します。

日本資産評価士協会の活動

ASAの評価人の資格は、世界4大会計事務所（ビッグ4）の間でも広く認知されています。

ASA機械・設備評価人養成講座の実施

ASAとの独占的な業務提携により、日本国においてASAの機械・設備評価人の国際資格取得に向けた日本語による養成講座を提供しております。本講座ではASA本部から経験豊かな認定講師を招き、日本語テキスト・教材を使用し、通訳による日本語環境での講義を行ないます。この講習を通じ、IFRS(国際財務報告基準)及び国際評価基準に準拠した機械設備の評価理論及び実務を習得し、グローバルスタンダードに基づく機械設備の評価ノウハウの習得をすることができます。



事業評価、知財評価セミナーの実施

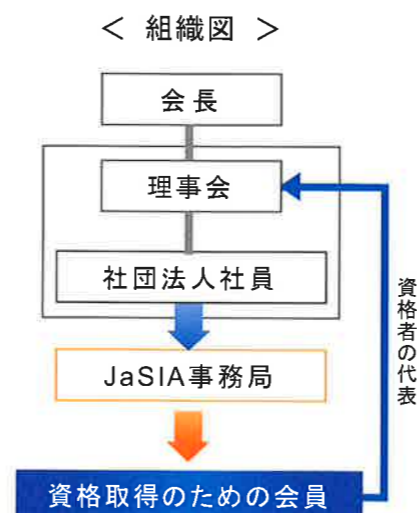
日本資産評価士協会は、動産、機械・設備、企業価値評価(知的財産を含む)の資産評価士育成のため、ASAと提携し、日本語環境でのトレーニング・試験・ライセンス供与・会員サービス等の提供を行っています。

総合資産評価制度の啓蒙・普及に係る事業

政府の「知的財産推進計画」に対し意見を具申しているほか、経済産業省の推奨するABL協会の活動等も支援している等、総合資産評価制度の普及・促進へ向け、積極的に活動を行っています。

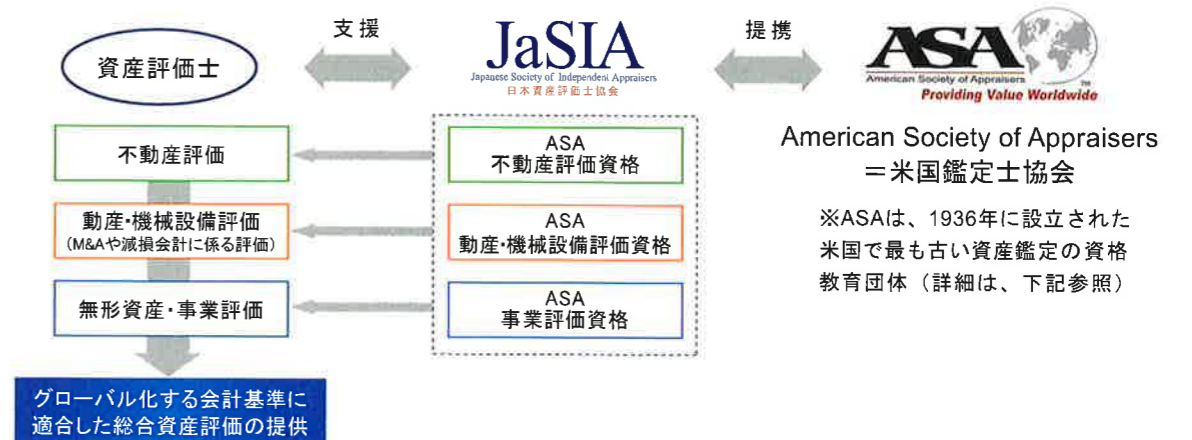
概要

名称	一般社団法人日本資産評価士協会 Japanese Society of Independent Appraisers (JaSIA)
所在地	〒151-0061 東京都渋谷区初台1-51-1 初台センタービル 708
TEL	03-5350-8808
FAX	03-5350-8809
WEBサイト	http://www.jasia-asa.org/
目的	総合的な資産評価制度の普及・促進に寄与すること
設立年月日	2009年11月
Email	info@jasia-asa.org



ASAとの関係

日本資産評価士協会は、日本で唯一ASA(米国鑑定士協会)の資格評価教育を提供している機関です。



日本資産評価士協会について

日本資産評価士協会は、グローバル化、IFRSの導入など、新時代を迎えた我が国の会計・企業財務実務のニーズに対応する総合的な資産評価のインフラ創設に向け、教育事業、研究、提言、その他啓蒙活動の実施を目的として、不動産鑑定士、公認会計士、弁理士、学会等の有識者が中心となり、2010年に設立された非営利の社団法人。その主要事業として、米国ASAとの業務協定により、日本でのASAの資格・教育制度の普及を担っており、動産、機械・設備、事業評価(知的財産を含む)の資産評価士育成のため、日本語環境でのトレーニング・試験・ライセンス供与・会員サービス等の提供をしている。また、政府の「知的財産推進計画」に対し意見の具申等を行っている。協会の目的は、我が国において欧米並みの資産評価という新たな専門的職能を確立し、小口のニーズに対しても安価で信頼性の高い資産評価サービスが提供出来る社会インフラを創設することに寄与することである。

ASA(米国鑑定士協会)について

ASAは米国の首都ワシントンD.C.に本部を持ち、1936年に創設された米国で最も古い歴史を有する鑑定教育・資格の業界自主団体の1つで、1987年の米国鑑定財団(The Appraisal Foundation/TAF)の創設メンバー(8団体)を主導。現在不動産、動産、機械・設備、事業(含む知財)、美術品、宝石等それぞれの専門分野での評価に関する教育と資格認定を提供している。動産、機械・設備、事業評価の分野に於いては特に高い権威と信用力を誇っており、ASAの鑑定教育・資格は、北米に加え、欧州(東欧を含む)、南米、アフリカ、中国、その他アジア諸国、オセアニア等にて広く受け入れられ、これらの国々における評価のスタンダードとなっている。特に機械設備評価では、世界4大会計事務所(ビッグ4)をはじめ、国際的に認知される世界で唯一の機関である。また、ASAは現在IFRSに対応した国際評価基準(IVS: International Valuation Standards)の策定作業についても、TAFと共に積極的な役割を果たしている。